

雲出川下流における避難のあり方 検討会の設立について



平成27年1月8日

雲出川の概要

雲出川流域の諸元

流域面積	550平方キロ
幹川流路延長	55km
流域内人口	約9万人
想定氾濫区域面積	約65平方キロ
想定氾濫区域内人口	約5万人
想定氾濫区域内資産額	約8,900億円

凡 例

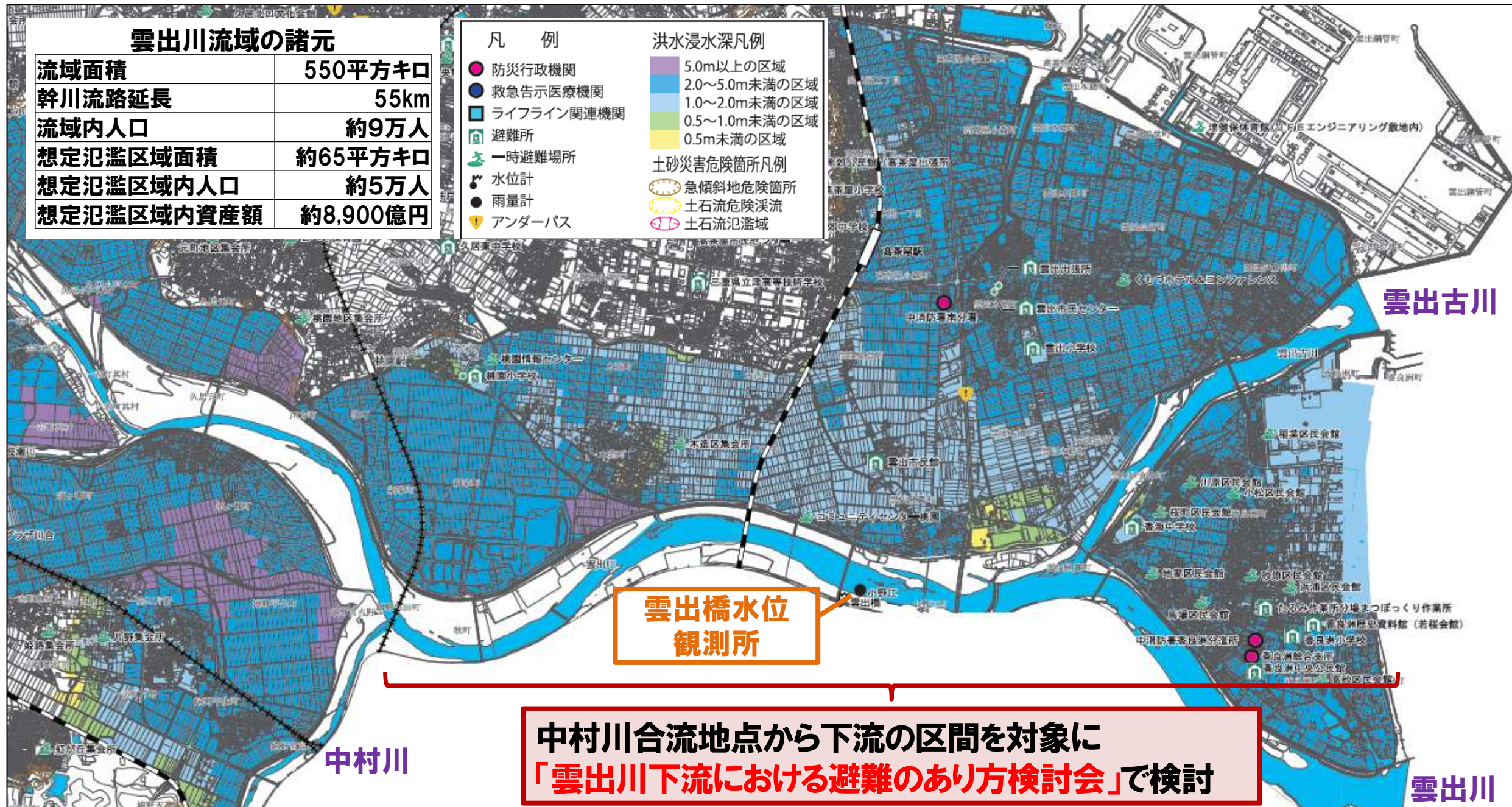
- 防災行政機関
- 救急告示医療機関
- ライフライン関連機関
- 🏠 避難所
- 🚶 一時避難場所
- 📊 水位計
- 🌧️ 雨量計
- 📍 アンダーパス

洪水浸水深凡例

- 5.0m以上の区域
- 2.0~5.0m未満の区域
- 1.0~2.0m未満の区域
- 0.5~1.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

土砂災害危険箇所凡例

- 急傾斜地危険箇所
- 土石流危険渓流
- 土石流氾濫域



雲出橋水位
観測所

中村川合流地点から下流の区間を対象に
「雲出川下流における避難のあり方検討会」で検討

近年の出水状況

近年、台風や突発的な豪雨等により、大規模な洪水災害が増加している傾向にあり、迅速かつ的確な情報の提供が行政に求められている

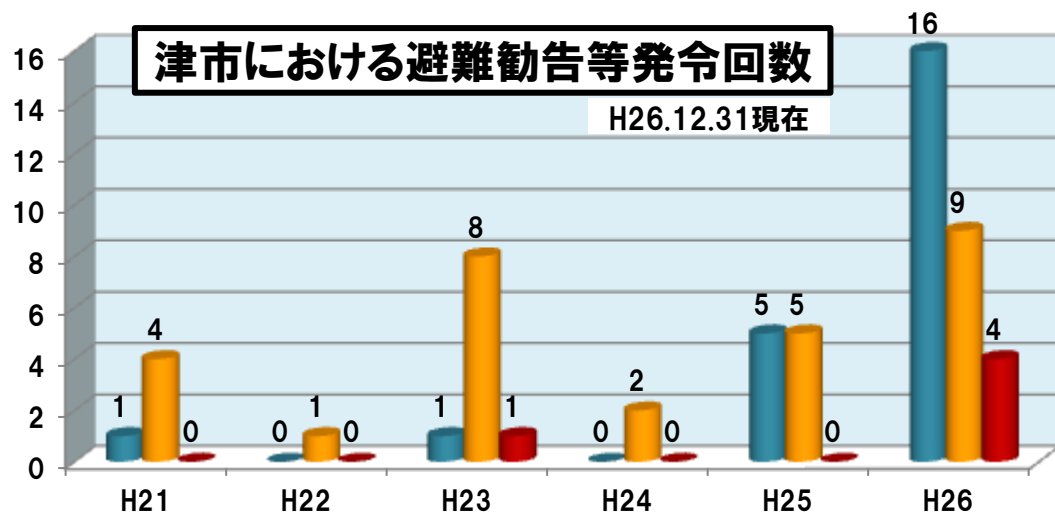
[アメダス] 1時間降水量50mm以上の年間観測回数



1976(昭和51)年から2014(平成26)年10月31日までに、アメダスが観測した1時間降水量50mm以上の短時間強雨の1,000地点あたりの発生回数



増加傾向



津市の避難準備情報、避難勧告、避難指示の発令回数も



増加傾向

波瀬川における避難のあり方検討会実施の効果

検討会実施前の状況

避難勧告等の発令により避難所へ避難した方の人数は4%にも満たない → **避難率が低い**

考えられる原因

- 地域住民が「危険」と思う水位と行政が設定した水位にズレ
- 地域住民が考える危険と思う地域と行政が避難勧告等を発令する地域とのズレ

波瀬川における避難のあり方検討会(平成25年2月22日、同年4月25日、同年7月8日)を実施し、平成25年7月29日に提言を取りまとめ

- 地域での説明会(全体説明会と自治会毎の説明会)を実施
- 避難勧告等発令判断基準(水位)・発令対象地域の見直しを実施

H25.9.1から
暫定運用開始

検討会実施後の状況

- 地域住民の方が設定された水位に対して理解を深めるとともに、防災意識が向上
- 真に危険が迫っていることを地域住民の方が認識できた
- 段階的な避難勧告等の発令により、地域の実情に即したきめ細かな対応ができた

避難率が上昇

平成26年台風第11号の際には約25%の避難率

雲出川下流における避難のあり方検討会の設立

設立趣旨

平成25年に有識者・地元関係者・行政関係者による「波瀬川における避難のあり方検討会」を設立し、避難判断水位等の見直しが行われるとともに、避難対象地域の見直し、段階的な避難勧告等の発令に資する提言がなされ、一定の成果を収めた

雲出川下流部においても、「波瀬川における避難のあり方検討会」における取り組みと同様、三重河川国道事務所において、適切な水位設定を行うとともに、**津市、松阪市**が「避難勧告等の判断伝達マニュアル作成ガイドライン」に沿った適切な避難勧告等の発令と迅速かつ的確な避難行動等が行えるよう「**雲出川下流における避難のあり方検討会**」を設立

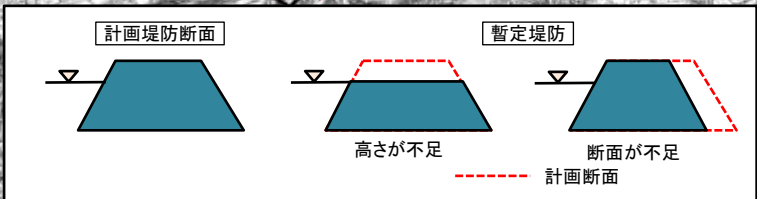
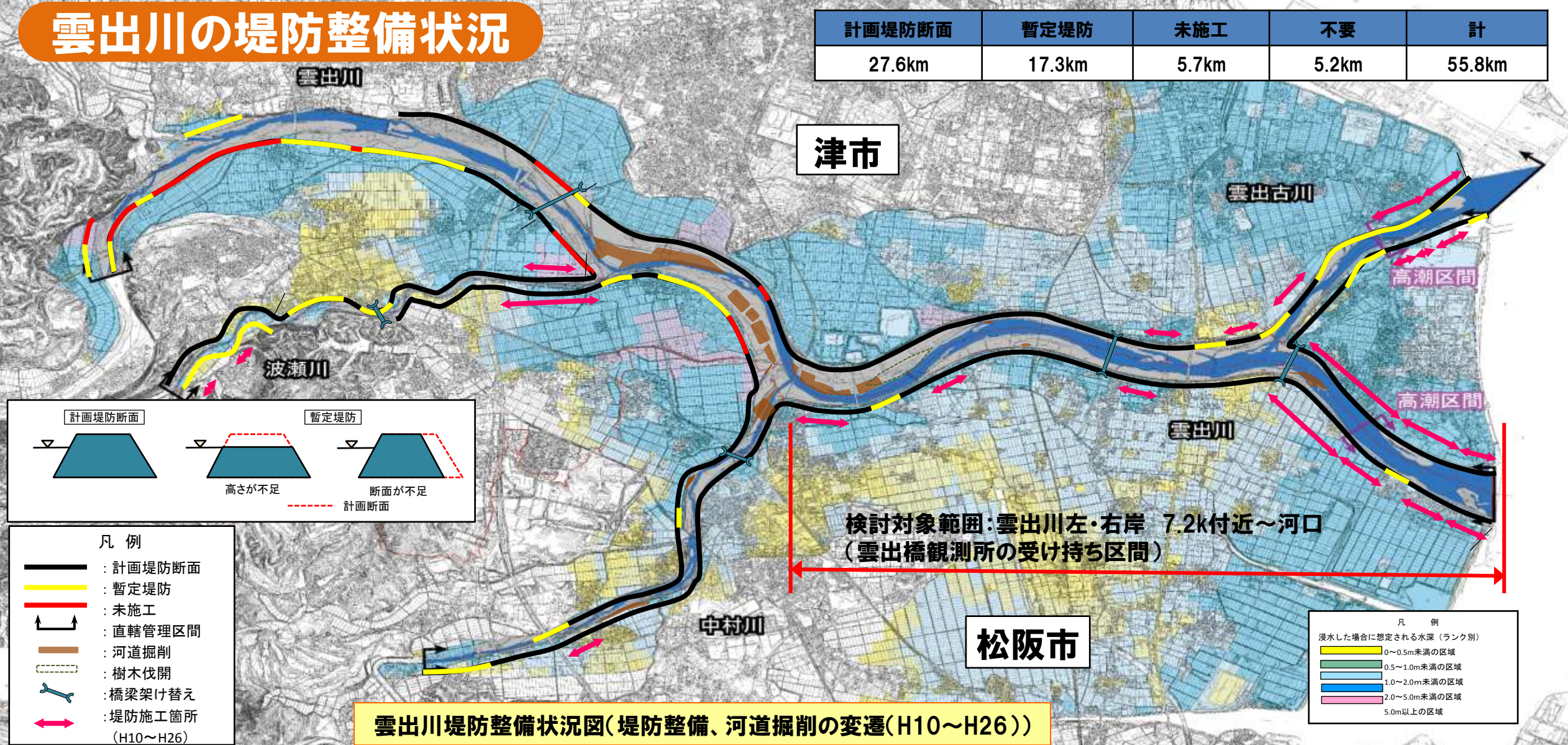
雲出川下流における避難のあり方検討会

国土交通省

- ①雲出川下流部は近15年では、高潮・堤防整備、橋梁改築(香良洲大橋・雲出橋)、中流部の河道掘削等を実施
- ②雲出川の堤防整備率は55%程度
- ③支川中村川合流点から下流は、破堤すると氾濫した洪水が市街地に拡散

雲出川の堤防整備状況

計画堤防断面	暫定堤防	未施工	不要	計
27.6km	17.3km	5.7km	5.2km	55.8km



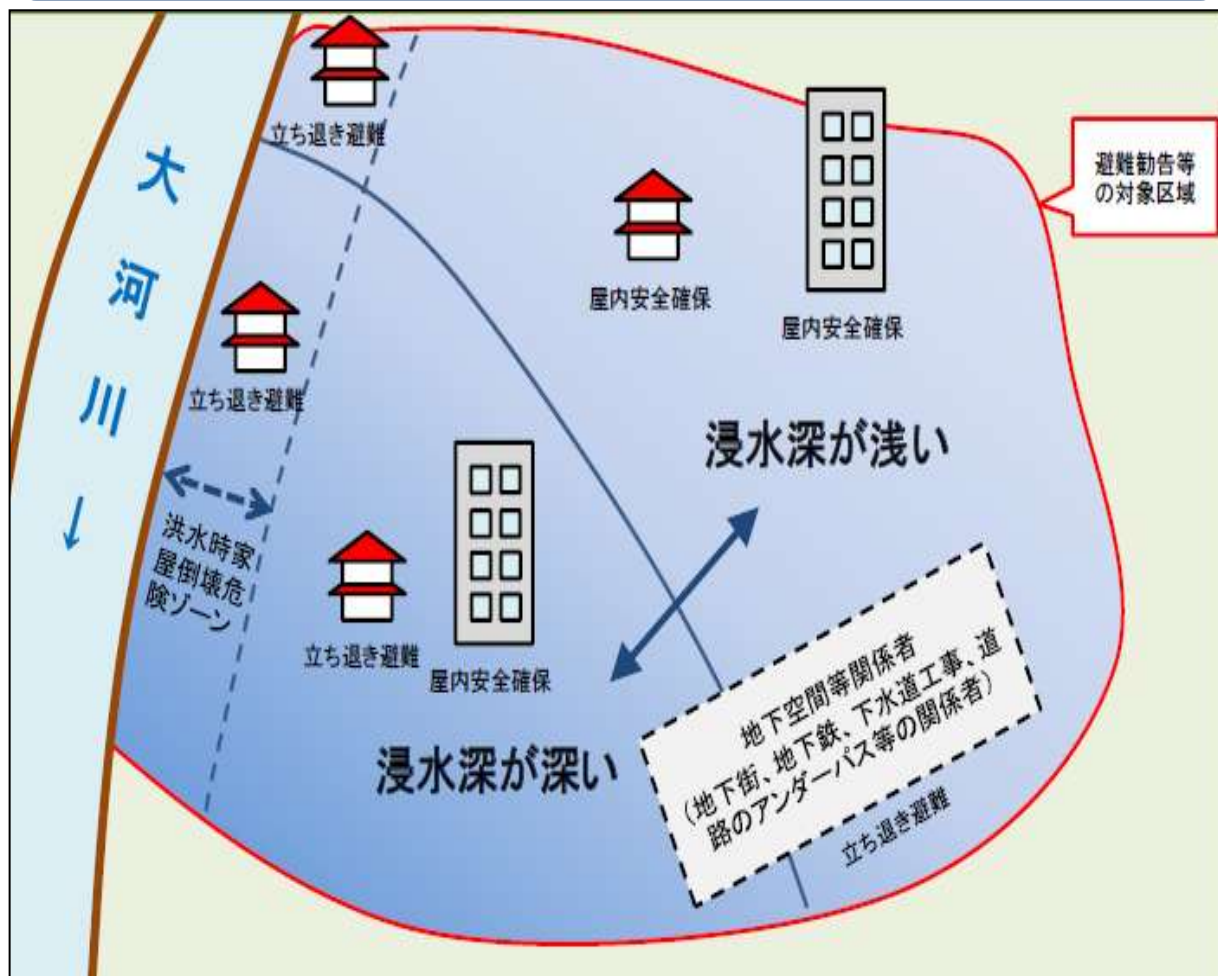
- 凡例
- : 計画堤防断面
 - : 暫定堤防
 - : 未施工
 - ↕ : 直轄管理区間
 - : 河道掘削
 - - - : 樹木伐開
 - : 橋梁架け替え
 - ↔ : 堤防施工箇所 (H10～H26)

- 凡例
- 浸水した場合に想定される水深(ランク別)
- 0～0.5m未満の区域
 - 0.5～1.0m未満の区域
 - 1.0～2.0m未満の区域
 - 2.0～5.0m未満の区域
 - 5.0m以上の区域

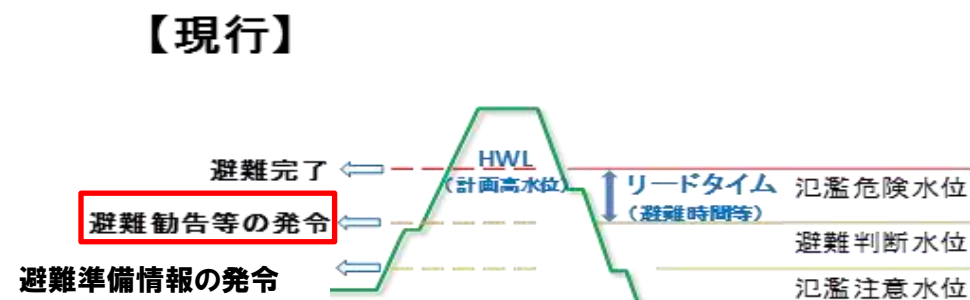
危険水位・危険箇所の見直し検討

「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン(内閣府)」が平成26年3月に改訂

家屋内に留まって安全を確保することも「避難行動」の一つとした。(立ち退き避難と屋内安全確保)



危険水位は、越水に対応する水位に見直し、避難勧告は氾濫危険水位に対応して発令することとし、適切な避難勧告の発令により、住民の避難行動に繋げる。



【見直し】

越水



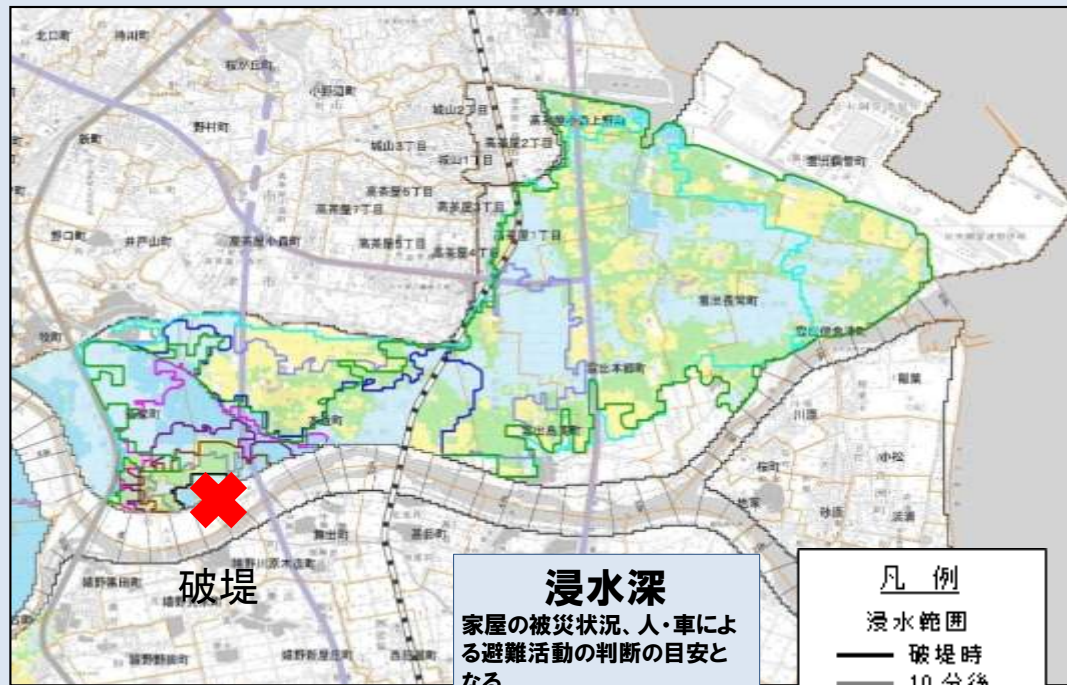
※浸透・侵食は別途対応

河川氾濫時の浸水想定区域検討

最大の浸水範囲に加えて、**浸水範囲の時間変化**、**歩行困難度**、**流体力**についても検討し、本検討会において提示

浸水範囲の時間変化

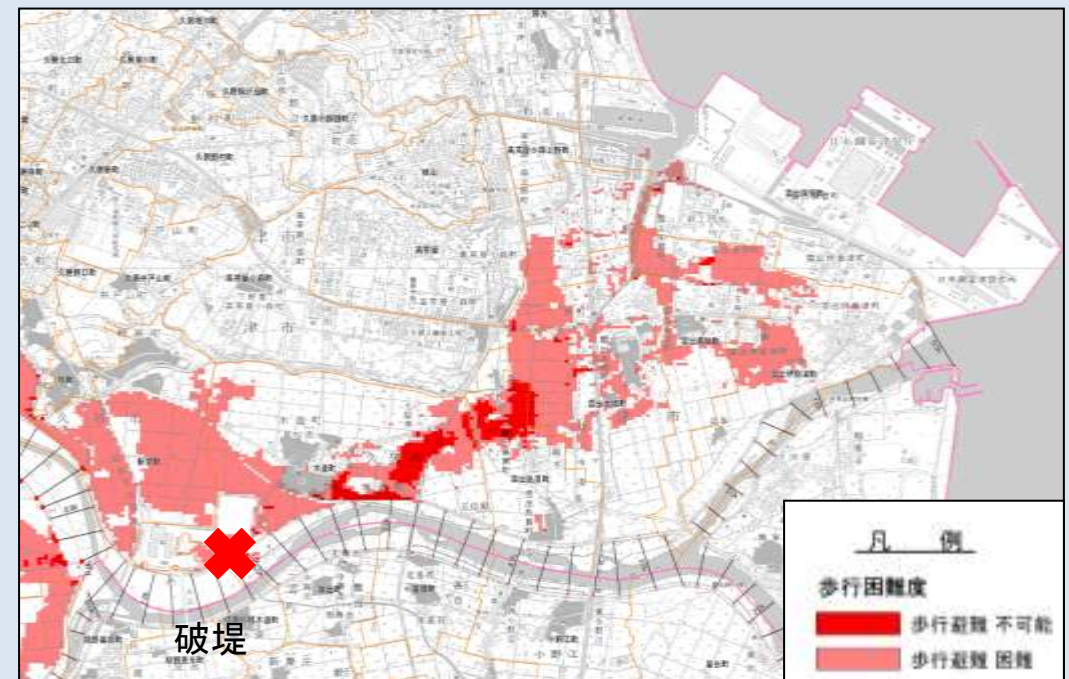
浸水するまでの時間を提示。避難行動、避難勧告基準の目安となる。



浸水時系列図(イメージ)

歩行困難度

流速と水深の関係より評価する。避難行動、要介護者支援の目安となる。



歩行困難度分布図(イメージ)

流体力

家屋被害の有無を判断する目安となる。1.5m³/s²以上は、家屋に何らかの被害が出る可能性がある。(水利講演会論文集1989.2より)

雲出川下流における避難のあり方検討会の設立

設立年月日

平成27年1月27日

検討会
メンバー

学識経験者

三重大学大学院 葛葉 泰久 教授

三重大学大学院 川口 淳 准教授（津市防災アドバイザー）

地域関係者

自治会 津市 ▶ 高茶屋地区、雲出地区、桃園地区、香良洲地区

松阪市 ▶ 嬉野地区、三雲地区

消防団 津市 ▶ 津、久居、香良洲

松阪市 ▶ 嬉野、三雲

行政関係者

津南警察署、松阪警察署

三重県（地域防災総合事務所、建設事務所）

津市（危機管理部、建設部、津市消防、久居総合支所、香良洲総合支所）

松阪市（危機管理室、都市整備部、松阪地区広域消防組合、地域振興局）

三重河川国道事務所

第1回雲出川下流における避難のあり方検討会の概要

日時 平成27年1月27日(火) 13時～

場所 アストプラザ 会議室1 (アスト津4階)

内容

- 雲出橋水位観測所における危険水位等の見直し
(危険水位・危険箇所等の現状、危険水位等の見直し)
- 雲出川下流地域住民の避難の現状
(浸水想定区域、避難勧告発令対象地域、避難実態等)
- 課題の抽出

今後の予定

第2回検討会
(H27.3頃)

第3回検討会
(H27.5頃)

雲出川下流における
避難のあり方の提言
(H27.6～7頃)

対象地域自治会
への説明会
(H27台風時期
までに実施)

暫定運用
開始

本運用
開始

ふるさと津かがやき寄附について

～前年度比寄附件数倍増～



平成27年1月8日

ふるさと津かがやき寄附について

平成20年4月30日公布の地方税法の改正により
「ふるさと納税制度」が誕生

- ▶ ふるさとへの思いを納税に代わって寄附という形で実現
- ▶ 個人住民税の大幅な控除が可能となる

平成20年7月～

ふるさと津かがやき寄附募集開始

平成24年4月～

寄附者への特産品贈呈開始

(平成26年1月1日から三重テラス商品引換券を追加)

平成24年7月～

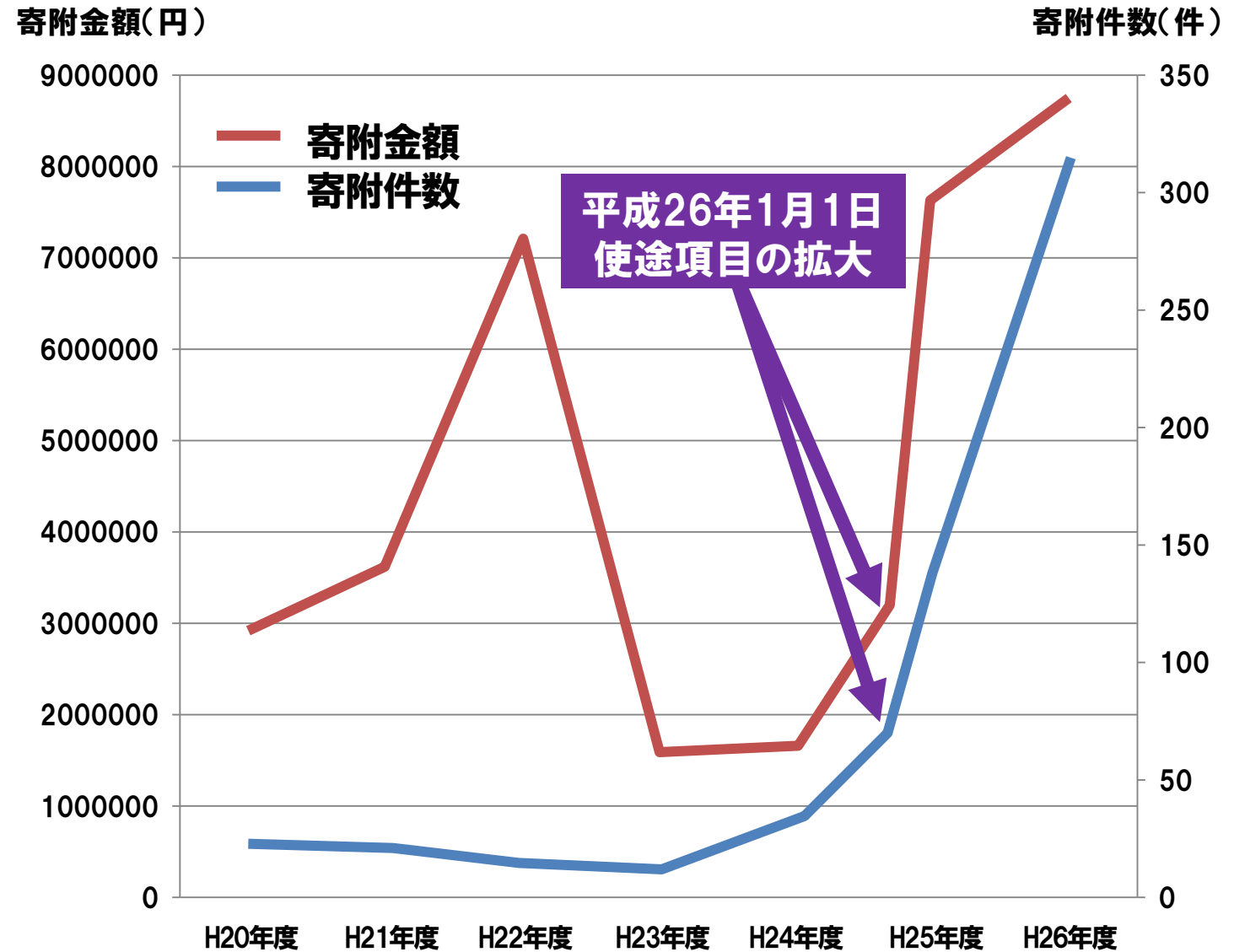
オンラインによる申し込み受け付け開始

平成26年1月～

選択項目の拡大(「津城跡の整備」、「多気北畠氏城館跡周辺のまちづくり」を選択可能)

ふるさと津かがやき寄附の実績(12月31日現在)

年度	寄附件数	寄附金額
平成20年度	23件	289万2千円
平成21年度	22件	361万9千円
平成22年度	14件	721万6千円
平成23年度	13件	162万0千円
平成24年度	34件	168万5千円
平成25年度	135件	763万2千円
平成26年度	312件	874万3千円
合計	553件	3,340万7千円



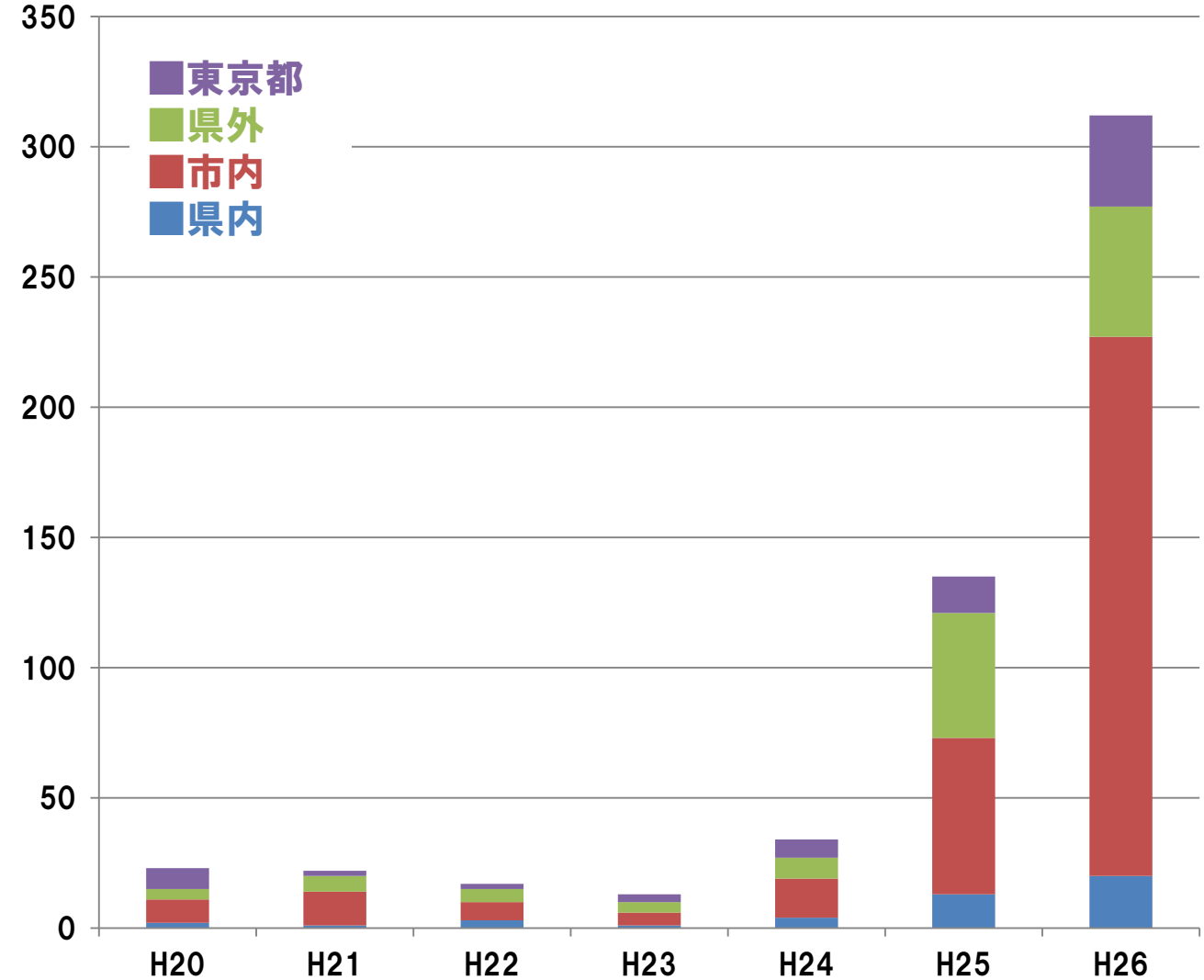
寄附件数が平成24年度比で、25年度は4倍増！26年度は9倍増！

ふるさと津かがやき寄附の実績(12月31日現在)

単位:件

年度	全体				
		県内	県外		
			市内	東京都	
平成20年度	23	11	9	12	8
平成21年度	22	14	13	8	2
平成22年度	14	7	7	7	2
平成23年度	13	6	5	7	3
平成24年度	34	19	15	15	7
平成25年度	135	73	60	62	14
平成26年度	312	227	207	85	35
合計	553	357	316	196	71

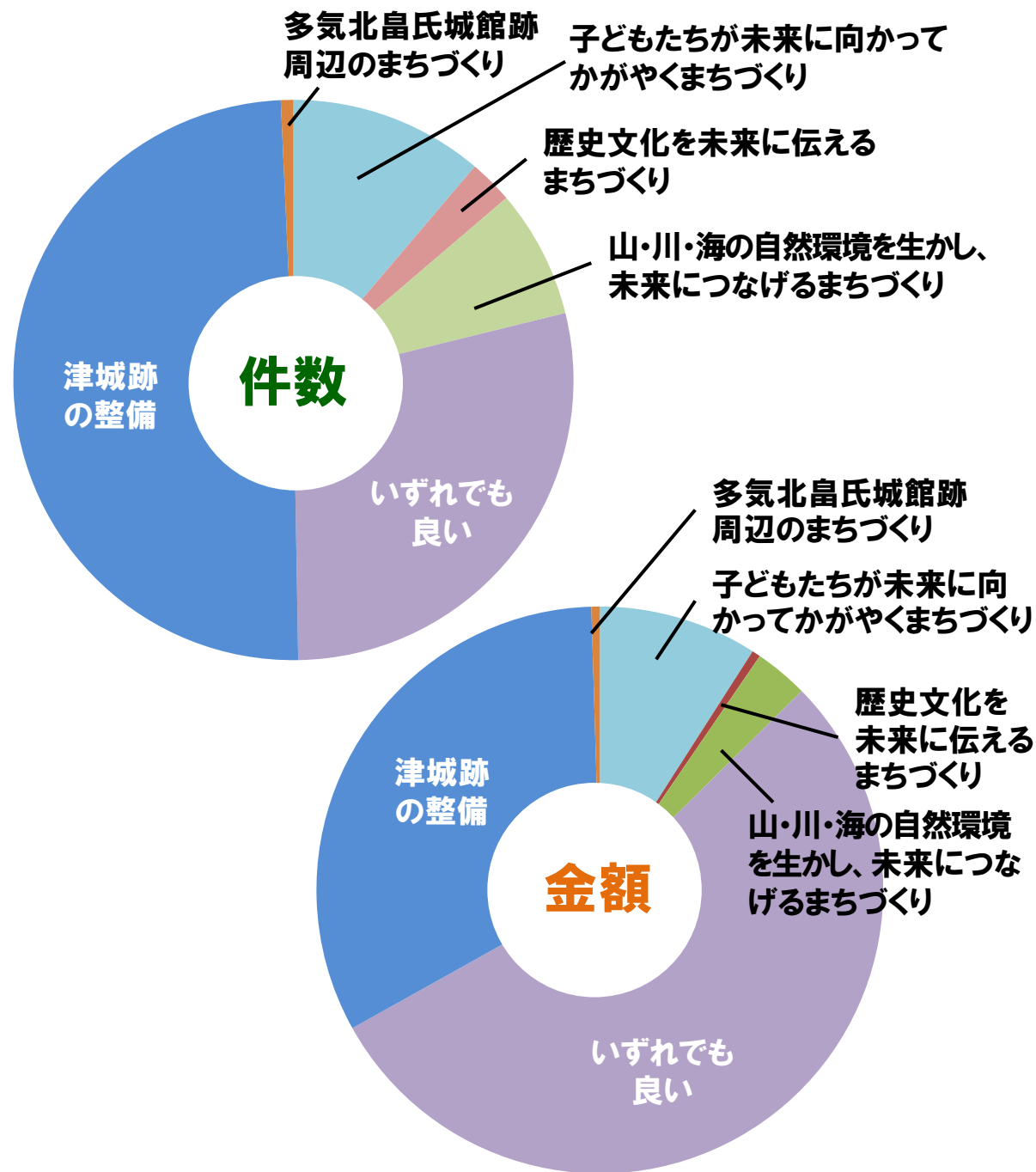
寄附件数(件)



東京からの寄附件数が平成24年度比で、25年度は倍増！26年度は5倍増！

これまでの寄附の使途希望状況(12月31日現在)

希望する使途	合計	
	件数	金額
1 子どもたちが未来に向かってかがやくまちづくり	62件	303万0千円
2 歴史文化を未来に伝えるまちづくり	14件	16万0千円
3 山・川・海の自然環境を生かし、未来につなげるまちづくり	41件	102万4千円
4 いずれでも良い	158件	1,813万5千円
5 津城跡の整備	274件	1,089万8千円
6 多気北畠氏城館跡周辺のまちづくり	4件	16万0千円
合計	553件	3,340万7千円



これまでの寄附の使途希望状況(12月31日現在)

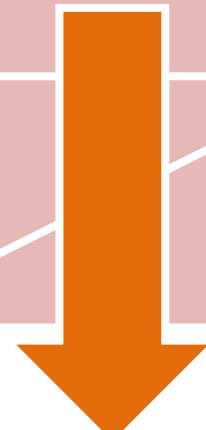
(単位／上段:件数、下段:千円)

希望する使途		合計	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	
1	子どもたちが未来に向かってかがやくまちづくり	件数	62	27	23	6	1	2	1	2
		金額	3,030	410	1,370	130	50	800	150	120
2	歴史文化を未来に伝えるまちづくり	件数	14	5	7	1	0	0	0	1
		金額	160	70	70	10	0	0	0	10
3	山・川・海の自然環境を生かし、未来につなげるまちづくり	件数	41	25	12	3	0	0	1	0
		金額	1,024	400	402	122	0	0	100	0
4	いずれでも良い	件数	158	30	40	24	12	12	20	20
		金額	18,135	1,085	1,510	1,423	1,570	6,416	3,369	2,762
5	津城跡の整備	件数	274	222	52					
		金額	10,898	6,718	4,180					
6	多気北畠氏城館跡周辺のまちづくり	件数	4	3	1					
		金額	160	60	100					
合計		件数	553	312	135	34	13	14	22	23
		金額	33,407	8,743	7,632	1,685	1,620	7,216	3,619	2,892

津城跡の整備は1年間で1,000万円を突破!

津城跡の整備分に係る分別管理(12月31日現在)

期 間	件数		金額	
		うち 津城跡の整備		うち 津城跡の整備
平成26年1月1日～ 平成26年12月31日	376	274	1,318万3千円	1,089万8千円
平成25年1月1日～ 平成25年12月31日	79		335万2千円	



将来の津城跡の整備に向けて、ふるさと津かがやき基金に積み立てて分別管理をしています

三重テラス商品引換券(平成26年1月1日～)

平成26年1月から三重テラス商品引換券を特典に追加

平成26年12月31日時点で**15名**の方が**三重テラス商品引換券**を希望

所在地	三重テラス商品券
東京都	8
首都圏(東京都以外)	4
県外(名古屋)	2
市内	1
合計	15



※首都圏(東京都以外)とは、神奈川県、千葉県、埼玉県の3県として計上

平成26年1月以降の東京都在住者からの寄附件数 37件

東京都在住の寄附者の5人に1人が三重テラス商品引換券を希望

確定申告をお忘れなく！

**ふるさと納税をされた方は
確定申告を！**

申告期間

**平成27年2月16日(月)から
平成27年3月16日(月)まで**

**ふるさと納税は、市本庁舎4階財政課で
受け付けています。電話、FAX、インター
ネットからもお申し込みいただけます。**

津市への応援をお待ちしています

